



出雲郷小学校 学校だより

令和5年4月

ああ 出雲郷小は よいところ

文責：校長

出雲郷小学校の令和5年度が始まりました！



令和5年4月10日（月）は出雲郷小学校の始業式でした。

私（校長）からは、まず「みなさんは今どんな気持ちですか？」と問いました。

『やってやるぞー』『大丈夫かな』『ドキドキ』などいろいろな気持ちがあって当然であり、どの気持ちも大切な今の自分の気持ちであること。」「自分の今の気持ちを自分がわかることが大事であること。」を話しました。

次に、「校長先生はどんな気持ちだと思いますか？」と問いました。

「とてもドキドキで、大丈夫かなあと心配な気持ちで

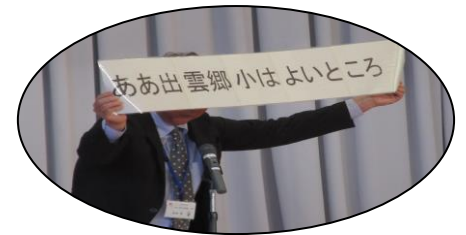
したが、みなさんが校長先生の顔をみてしっかり話を聞いているので、ホッとした気持ちです。」と伝えました。

そして、「相手の話を聞くということは、実は相手を大切にすることです。」と付け加えました。

最後に、校歌の歌詞にあるように、「ああ出雲郷（小）はよいところ」と誰もが思える一年にしたいという願いを伝えました。

学校は、生活体験、生育、発達など様々な面で異なる子どもたちの集まりです。楽しいことばかりならよいのですが、互いに衝突することや様々な壁にあたることもあります。それも含めて、最後は、子どもたちはもちろん、教職員も、保護者の方も地域の方も、みんなが「ああ出雲郷小はよいところ」と思えるような1年にと強く思っています。

至らぬところも多々あると思いますが、どうか、温かいまなざしとご支援をお願いいたします。



80名の新入生が入学！

令和5年度の出雲郷小学校は、全校児童474名でスタートしました。



令和5年4月11日（火）は入学式でした。80名の新入生を迎えました。

広い体育館にたくさんの先生方や6年生…1年生にとっては驚きの時間であったことでしょう。しかし、約20分間の式の間、しっかり椅子に座って話を聞くことができました。

1年生にとって、環境の変化は大人が考えているよりも大きいと思います。個人差もあります。まずは、大人（教職員、保護者）がどっしり構え、子どもたちの歩みを見守っていきたいものです。

「歩（あゆみ）」は、少しという字と止まるという字からできています。子どもたちの歩みは、少し

行っては止まり、また少し行っては止まりを繰り返しながら、着実に進んでいきます。

この度の人事異動により出雲郷小学校の校長として着任いたしました、野津 勇（のつゆう）と申します。どうかよろしくお願いたします。